

Drug Information News

～ 2026年 5月号 ～

熊本総合病院 薬剤部 広報誌 DI室 上淵・濱田・大岡

【CONTENT】

- ✓ 今月のトピックス（病棟薬剤業務実施加算の改定）
- ✓ 薬事委員会報告ダイジェスト（2026, 4/28開催分）
- ✓ 医薬品・医療機器等 安全性情報 No.427,428 抜粋
- ✓ Drug Safety Update No.344 抜粋

【「院内で薬を整える」から「地域で薬物治療をつなぐ」へ】

現行

- | | | |
|---|--------------------|------|
| 1 | 病棟薬剤業務実施加算1（週1回） | 120点 |
| 2 | 病棟薬剤業務実施加算2（1日につき） | 100点 |

改定後

- | | | |
|---|--------------------|------|
| 1 | 病棟薬剤業務実施加算1（週1回） | 300点 |
| 2 | 病棟薬剤業務実施加算2（週1回） | 120点 |
| 3 | 病棟薬剤業務実施加算3（1日につき） | 100点 |

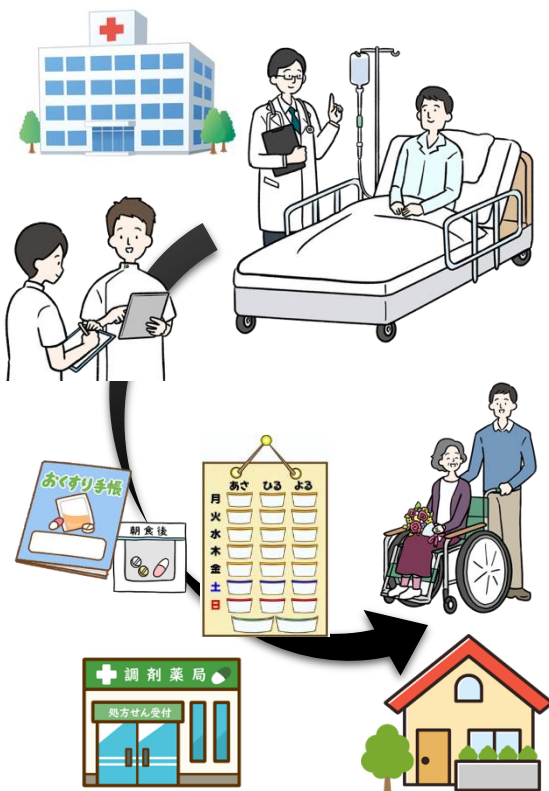
さて2026年度の診療報酬改定後、例年通り数回に渡る疑義解釈も概ね出揃い、各項目ごとに詳細な内容が明確となってきましたが、今回は特に**病院薬剤師に深く関わる「病棟薬剤業務実施加算」**に大きな動きがありましたのでその内容を少しご紹介します。

私たち病院薬剤師は、主に**薬剤管理指導**（薬の飲み合わせや副作用、効果などを確認・指導する業務）を行うと共に、**病棟に薬剤師を配置**（常駐）する事で、入院患者の持参薬確認や副作用モニタリング、配置薬の管理、処方提案など多職種との連携をスムーズに行い、入院中の安全かつ効果的な薬物療法の支援に努めています。さらに退院時には薬情書やお薬手帳を活用し、**退院後の服薬支援**に加え、保険薬局や転院先医療機関等への情報共有を行なっています。今回の診療報酬改定は、この薬剤師が日常的に行っている薬剤管理の質と連続性が病棟薬剤業務の評価に直結し、**「つながる薬剤管理」**の充実として更に一段階上の加算が新設（上記300点/週1回）されました。

ただ勿論簡単に取れる訳でもなく、**薬剤総合評価調整加算**や**退院時薬剤情報管理指導料**の十分な実績が必要であり、入院患者の薬物療法を総合的に評価し、必要に応じて処方提案や減薬を行うことを評価すると共に、施設間の薬剤情報連携が充実する様な体制の構築など、クリアすべきハードルが多くあります。

それにしても今回は流石に点数が大きいので、全国各地の病院でこの加算取得を目指している事だと思います。当院薬剤部でもこの新たな病棟薬剤業務実施加算1の取得を目指すべく、病棟での業務自体を**「薬剤管理指導<退院指導」**へシフトする方針で動き始めています。

今回取り上げた病棟薬剤業務実施加算における診療報酬改定は、私たち薬剤師業務のあり方を大きく変える事となりました。今後地域包括ケアシステムが更に進んでいく中で、多職種との連携を通じた情報共有を深め、患者の最適な薬物治療を支えながら地域で薬物治療の「ハブ」として機能することが期待されています。**「院内で薬を整える薬剤師」**から**「地域で薬物治療をつなぐ薬剤師」**を目指してこれからも薬剤部一同頑張っていきますので、これからも皆様のお力添えをお願い致します。



【新規仮採用申請】

- ・ルマケラス錠120mg (ソラシブ[®] : アムジエン) 4204.3円
【効】がん化学療法後に増悪したKRAS G12C変異陽性、切除不能な進行再発大腸癌・非小細胞肺癌
- ・ハイキュービア10%皮下注セット5g, 10g, 20g (IgG : アムジエン) 56816/112154/221382円
【効】無又は低ガンマグロブリン血症など
- ・ダーブロック錠6mg (ダブプロデュスタット : 協和キリン) 368.2円
【効】腎性貧血
- ・ヒフデュラ配合皮下注シリンジ5mL
(抗FcRn抗体フラグメント・ヒアルロン酸分解酵素 : アルジエクス) 665026円
【効】全身型重症筋無力症
- ・ビブラマイシン錠50mg (ドキシサイクリン : ファイザー) 12.5円
【効】ブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌など
- ・テブダック点滴静注40mg (チリマブ[®]ベドチン : ジェンマブ) 252241円
【効】がん化学療法後に増悪した進行または再発の子宮頸癌
- ・プレベナー20水性懸濁液0.5mL (20価肺炎球菌ワクチン : ファイザー) 7100円 (実勢価)
【効】肺炎球菌の罹患予防
- ・ルンスミオ皮下注5mg, 45mg (モスネズマブ : 中外) 266843/2327787円
【効】再発または難治性の大細胞型B細胞リンパ腫、濾胞性リンパ腫
- ・プレマリン錠0.625mg (エストロゲン : ファイザー) 73.8円
【効】機能性子宮出血など
- ・グロベニン-I10%静注5g (IgG : 武田) 66918円
【効】無または低ガンマグロブリン血症など
- ・ネオドパストン配合錠L100 (レボドパ[®]・カルビドパ[®] : 大原薬品) 12.3円
【効】パーキンソン病、パーキンソン症候群
- ・ドンペリドン錠10mg「EMEC」(ドンペリドン : 日医工) 8.9円
【効】慢性胃炎など消化器症状
- ・アムバロ配合錠「カイ」(バルサルタン・アムロジピン : カイ) 14円
【効】高血圧症
- ・セクターローション3%100mL (ケトプロフェン : 久光) 4.4円/mL
【効】鎮痛・消炎
- ・ベバシズマブBS点滴静注100mg, 400mg (ベバシズマブ : 日本化薬) 6038/22709円
【効】大腸癌、非小細胞肺癌、乳癌、悪性神経膠腫、卵巣癌など
- ・ラニビズマブBS硝子体内注射用キット10mg/mL「センジュ」(ラニビズマブ : 千寿製薬) 72136円
【効】中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性など

【院外採用申請】

- ・コセルゴカプセル10mg, 25mg (セルメチン[®] : アルクシオン) 12622.8/30257.8円
【効】神経繊維腫症I型における叢状神経繊維腫
- ・ビブラマイシン錠100mg (ドキシサイクリン : ファイザー) 22円
【効】ブドウ球菌属、レンサ球菌属、肺炎球菌など

【緊急購入申請】

- ・イブトロジーカプセル200mg (テトクチンブ : 日本化薬) 9711.2円
【効】 ROS1融合遺伝子陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞性肺癌
- ・マヴィレット配合錠 (グレカ°レブル・ヒ°ブレタスヒル : アグイ) 17422.8円
【効】 C型肝炎・肝硬変におけるウイルス血症の改善
- ・ミニプレス錠0.5mg (プラザシ : ファイザ-) 6.3円
【効】 高血圧、排尿障害など
- ・イデルビオン静注用1000, 2000国際単位 (アルブトレ°ナコグ : CSLベ°リング) 343931/665036円
【効】 血液凝固第IX因子欠乏患者における出血傾向の抑制

【院内採用削除】

- ダブブロック錠1mg、ルセンチイス硝子体内注射用、ヒフデュラ皮下注
… 切替変更のため
- メネシット配合錠L100、ナウゼリン錠10、エックスフォージ配合00錠、
セクターローション50mL、プレベナー13
… 販売中止のため
- アドソルビン原末、ポビドンヨードゲル10%「VTRS」、プレドネマ注腸20mg
… 経過措置切れのため

* 他、医薬品安全管理のための業務手順書一部改定、有害事象報告 (この紙面では省略)

1. 亜硫酸塩を含有する医療用医薬品、医療機器及び再生医療等製品に係る「使用上の注意」の改訂について

亜硫酸塩を含む医療用医薬品(有効成分として亜硫酸リジン、又は添加剤として抗酸化剤、安定化剤等の目的で亜硫酸ナトリウム、亜硫酸水素ナトリウム、乾燥亜硫酸ナトリウム、ピロ亜硫酸カリウム、ピロ亜硫酸ナトリウム)等に関しては、過敏症のリスクに関して一律に注意喚起を行い、併せて喘息患者に対するリスクに関して記載する旨の使用上の注意を改定。

1. 抗てんかん剤の自動車運転等に係る注意事項について

カルバマゼピン、バルプロ酸ナトリウム、ラモトリギン、ラコサミド、レベチラセタムは、眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下といった中枢神経系に影響を与える副作用を起こすことがあるため、「使用上の注意」の「重要な基本的注意」の項において、薬剤を投与中の患者には自動車運転等の危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意する旨が記載されていたが、国内外の状況を総合的に考慮し、てんかんに伴う各種発作に関する効能効果として使用する場合には、薬剤投与中は一律に自動車運転等に従事させないとするのではなく、医師が日本てんかん学会の留意事項に基づき、個別の患者の状態に応じて、自動車の運転等危険を伴う機械を操作することの適否を判断することを可能とするよう添付文書を改定。

2. 併用薬通知適用時の安全対策上の留意点について

アミバンタマブとラゼルチニブを併用投与する際には、静脈血栓症(VTE)の発症抑制を目的としてアピキサバンを併用する旨が添付文書において注意喚起されているため、これらの3剤が併用して投与されることになっていたが、市販後の使用成績調査で報告された症例の評価及び注意喚起のあり方を検討した結果、腎不全患者にはアピキサバンを投与すべきではないとアピキサバンの電子添文で明記。

*トリアゾラム錠・ロナセンテープ、ベルソムラ錠、コララン錠、ケレンディア錠、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩錠、エドルミズ錠、イムブルビカカプセル

禁忌及び併用禁忌 一部改訂「セリチニブ」追記

*カルブロック錠、レザルタス配合錠

禁忌及び併用禁忌 一部改訂「クラリスロマイシン、セリチニブ」追記

*セララ錠

禁忌及び併用禁忌 一部改訂「コビシタット含有製剤、セリチニブ」追記

*クラリスロマイシン錠

禁忌及び併用禁忌 一部改訂「アゼルニジピン、オルメサルタンメドキシミル・アゼルニジピン」追記

*エリキユース錠

禁忌及び腎機能障害患者 一部改訂

<非弁膜症性心房細動患者における虚血性脳卒中及び全身性塞栓症の発症抑制、アミバンタマブ（遺伝子組換え）とラゼルチニブとの併用投与による静脈血栓塞栓症の発症抑制>

腎不全（CLcr 15mL/min未満）の患者：投与しないこと。

腎障害（CLcr 15～50mL/min）のある患者：出血の危険性が增大するおそれがある。

*テグレート錠、セレニカR顆粒・錠、デパケンシロップ、ビムパット錠、ラミクタール錠、レベチラセタム錠

重要な基本的注意 一部改訂

<精神運動発作、てんかん性格及びてんかんに伴う精神障害、てんかんの痙攣発作：強直間代発作（全身痙攣発作、大発作）>

眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがある。自動車の運転等危険を伴う機械操作の適否は、関連学会の留意事項を十分理解の上、医師が慎重に判断し、危険を伴う機械操作を行う場合には十分な注意が必要であることを適切に患者に指導すること。また、眠気等があらわれた場合には、自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう、患者に指導すること。

<躁病、躁うつ病の躁状態、統合失調症の興奮状態及び三叉神経痛>

眠気、注意力・集中力・反射運動能力等の低下が起こることがあるので、本剤投与中の患者には自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。

*コルヒチン錠

警告 新設

本剤の1日量1.5mgを超える高用量を投与した患者及び重度腎機能障害患者において、重篤な中毒症状（胃腸障害、血液障害、腎障害、肝障害等）を発現し、脂肪に至った症例が報告されている。1日量1.5mgを超える高用量の投与、又は重度腎機能障害患者への投与は、臨床上やむを得ない場合を除き避けること。また、悪心・嘔吐、腹部痛、下痢、咽頭部・胃・皮膚の灼熱感、血尿、乏尿、筋脱力等の中毒症状があらわれた場合には速やかに医療機関を受診するよう患者に指導すること。

併用禁忌 一部改訂「セリチニブ」追記

他、用法及び用量に関連する注意、重要な基本的注意、腎機能障害患者、重大な副作用 一部改訂・追記

*タクロリムス錠、プログラフカプセル

妊婦 一部改訂

海外で実施された肝移植及び腎移植患者の妊娠事例に関するコホート研究において、前向きに調査された症例結果追記。

*イクスタンジ錠

禁忌及び併用禁忌 一部改訂

ドラビリン、エンソトレルビルフマル酸、レナカパビルナトリウム、ニルマトレルビル・リトナビル、エルビテグラビル・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩、ダルナビルエタノール付加物・コビシスタット・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩、ドルテグラビルナトリウム・リルピピリン塩酸塩、ビクテグラビルナトリウム・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩、リルピピリン、リルピピリン塩酸塩、リルピピリン塩酸塩・エムトリシタビン・テノホビルアラフェナミドフマル酸塩を投与中の患者

*リムパーザ錠

重要な基本的注意及び重大な副作用 追記

肝機能障害があらわれることがあるので、本剤投与開始前及び投与中は定期的に肝機能検査を行い、患者の状態を十分に観察すること。